

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分
 【発行日】平成 23 年 12 月 15 日 (2011.12.15)

【公開番号】特開 2009-161169 (P2009-161169A)
 【公開日】平成 21 年 7 月 23 日 (2009.7.23)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-029
 【出願番号】特願 2008-332719 (P2008-332719)
 【国際特許分類】

B 6 0 C 11/16 (2006.01)

【F I】

B 6 0 C 11/16 B

B 6 0 C 11/16 D

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 11 月 1 日 (2011.11.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

スタッドピン (22) と、熱膨張性材料からなる容器 (50) と、ばね要素 (56) とを備えるスタッドピンアセンブリにおいて、

前記スタッドピンアセンブリ (20) は、前記容器 (50) が前記ばね要素 (56) と相互に作用し、かつ周囲温度が変化する際に該ばね要素 (56) が前記スタッドピン (22) を移動させるように構成されており、

前記容器 (50) は、流体 (51)、好ましくは水を収容する流体コンパートメントと、エラストマー (52)、好ましくはシリコンを収容するエラストマーコンパートメントを含んでいることを特徴とする、スタッドピンアセンブリ。

【請求項 2】

前記ばね要素 (56) は、前記エラストマーコンパートメントによって前記流体コンパートメントから分離されていることを特徴とする、請求項 1 に記載のスタッドピンアセンブリ。

【請求項 3】

所与の周囲温度での前記スタッドピン (22) の初期の設定を調整する調整手段 (110, 240) をさらに備えることを特徴とする、請求項 1 に記載のスタッドピンアセンブリ。

【請求項 4】

前記調整手段は、前記容器 (50) 内、好ましくは前記容器 (50) の前記流体コンパートメント内を延びる調整ピン (110) または調整ねじであり、

前記調整ピン (110) または前記調整ねじの、前記容器 (50) 内を延びる延伸長さは変えられることを特徴とする、請求項 3 に記載のスタッドピンアセンブリ。

【請求項 5】

前記調整手段は、所与の周囲温度での前記スタッドピン (22) の初期の設定を調整するために前記スタッドピン (22) を移動させるために前記容器 (50)、好ましくは前記容器 (50) の前記エラストマーコンパートメントと相互に作用する第 2 のばね要素、好ましくは圧縮ばね (240) であることを特徴とする、請求項 4 に記載のスタッドピンアセンブリ。

【請求項 6】

スタッドピンアセンブリ(20)は、前記調整手段(110, 240)、好ましくは第2のばね要素と相互に機械的に作用する調整可能ナットアセンブリ(230)であることを特徴とする、請求項3に記載のスタッドピンアセンブリ。

【請求項 7】

滑り止め深さ(NSK)を有するトレッド(12)を備える空気入りタイヤにおいて、前記トレッド(12)は、請求項1に記載のスタッドピンアセンブリ(20)を少なくとも1つ含むことを特徴とする、空気入りタイヤ。